

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students

プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 三谷 亮介
所属 (School) 工学研究科 物質・化学系
学年 (Grade) 博士前期課程 2年

留学先 (Name of overseas institution)

留学期間 (study abroad period)
2019/4/8~2019/4/14

記入日 (Date) 2019/4/15



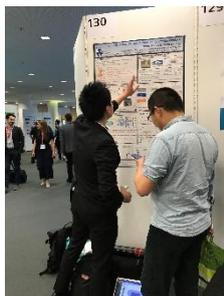
留学レポート Study Abroad Report

はじめに

私は Nurnberg で開催された PARTEC 2019 に参加し、大学院での研究内容に関してポスター発表を行いました。また研究室訪問としてドイツの Erlangen にある Friedrich-Alexander Unibersitat Eelangen-Nurnberg (FAU)に行きました。本レポートはそこで私が感じたこと・学んだことに関するレポートです。

学会(PARTEC 2019)について

PARTEC 2019 という国際学会に参加させて頂きました。場所は Nurnberg Messe で行われました。自分自身にとって初の海外経験&国際学会であり、非常に緊張しましたが、思ったよりも自分の下手な英語が通じたので幸いでした。また、学会が粉体の学会ということだったので自分の研究室とよく似たあるいは共通する研究が数多くあり、海外の研究者たちがどのようなアプローチをしているのかよくわかり、大変刺激になりました。特に、自分の研究している粉末吸入製剤に関する講演があり、それを聞くことができ、またその教授と話しをできたのは良い機会でした。さらに海外の研究者の力を知ることができ、自分も彼らに負けないような研究をしなければならないと感じました。この学会の一番の収穫は他の研究者と知り合えることができたことです。特に University of Leeds の学生とは連絡先を交換することができ、お互いの研究について話しあうことができました。しかしながら、この学会発表で講演や他人の研究発表について英語で何を言っているのか聞き取ることができないことが多々あり、自分の力のなさを痛感しました。今後はこのようなことがないように、経験やリスニング練習、あるいはオーラル練習を行い、世界に少しでも影響を与えるような研究者になりたいと強く思いました。これから国際学会に参加される方に何かアドバイスするとすれば、現地に入ってから、かなり英語や現地の言葉を間違ってもいいから根気よく話すことかなと思いました。実際、自分は現地の人と話すときに聞いているだけであまり話せていなかったなので自分で話すときや発表で苦労しました。



ポスター発表中の写真



ポスター賞受賞後の記念写真

展示会(POWTEC)について

今回学会の隣で同時期に粉体操作に関する企業の機械の展示会が行われていました。ちょうどよい機会なので、学会の合間に見学させていただきました。その中では粉体に関するトラブルであるコンタミネーション(混合)を回避するように工夫された機械や、バッチ式だったものを連続生産できるように工夫された機械が多く展示されており、企業について際に、どのような機械を使うのか、またこれからのトレンドの機械は何であるか、ある程度知ることができました。この展示会では、会場がドイツであったことも影響して、ヨーロッパの企業は多いものの、日本やアメリカなどの世界中の企業はあまり展示していなかったのが残念でした。しかしながら、ドイツの企業だけでも会場の Nurnberg Messe を埋め尽くすほどあり、ドイツの粉体産業の強さを感じました。

FAU について

今回、研究室の助教授である大崎先生の伝手で学会の後に Erlangen にある FAU の Robin 先生の研究室を見学することができました。ここで FAU について説明いたしますと、FAU は工学に関する研究が盛んであり、バイエルン州で 2 番目とかなり大きな力を持った大学です。FAU は数多くの分野からなりますが、特に同じ大学の各研究室が協力し合って一つのプロジェクトをいくつか進めているのが日本と異なり印象的でした。日本の場合ですと大きなプロジェクトに関しては同じ大学の各研究室と連携することはありますが、まだまだ少ない印象です。Robin 先生の研究室はポストドクの方がおり、比較的人数の少ない研究室であるのに多くの論文・成果を上げていました。やはり、世界有数の大学ということもあって、世界中から研究意欲の高い人が集まっているからなのかなと思いました。研究に関しては粒子のコーティングや粒子合成を行っておりますが、我々の研究室と違い、応用化学や材料マテリアル的な観点からアプローチしており、大変興味深かったです。また、研究室の道具も研究室の学生が自ら技術者に注文したのもあり、独創的で面白かったです。Robin 先生の研究グループは実験メインということもあり、最新の実験設備が整っておりここで研究するのは楽しいだろうなと感じました。

さいごに

今回の学会発表では自分の能力のなさや海外の研究者のすごさを感じました。また研究室見学ではそこにある研究設備だけでなく、学生の質の高さを垣間見ることが出来ました。今後海外に行きたいという学生がいるならば海外へ行き、積極的に海外の人々と話し、学んでください。日本にいるより自分の成長に大きく繋がると僕は感じました。

謝辞

最後にこのような学会発表および研究室見学の機会を下さった、綿野先生をはじめ、仲村先生、大崎先生の研究室の先生たち、並びに自分の研究を支えてくれた研究室の学生たち、また大阪府立大学の国際交流グループに感謝の意を表します。また、研究室見学を受け入れてくださった Robin 先生や学会である PARTEC のスポンサーを務めた Powder Technology 誌への感謝をここで述べさせていただきます。



POWTEC 参加の写真



Robin 先生(写真中央)との記念写真